

# 育成 かながわ

◆発行責任者／神奈川県手をつなぐ育成会  
 会長 植松 みさこ  
 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2  
 TEL 045-323-1106  
 FAX 045-324-0426  
 e-mail ijkanagawa\_k@yahoo.co.jp

## □ 平成 30 年度通常総会開催 □ 県の取組みについて伺う

平成 30 年度通常総会は 4 月 23 日（月）10 時 30 分より かながわ県民センターにおいて開催されました。来賓として神奈川県福祉子どもみらい局障害福祉課長水町友治氏をお迎えし、育成会の関心の高い事柄について話を伺いました。



水町障害福祉課長

特に「神奈川県障がい福祉計画」の改定について、1 月 23 日のヒアリングで育成会が発言した内容について、県の対応を真摯にお答えいただいたことは、今後の活動への励みとなりました。以下要約を紹介いたします。

### ① 津久井やまゆり園再生基本構想の概要について

利用者の意思決定支援に取り組みながら、すべての利用者が安心して安全に生活できる場を確保する。選択肢としては千木良地域と芹が谷地域の入所施設整備を進めるほか、既存の施設において生活の場を確保する。

施設整備にあたっては意思決定支援の状況に応じて設計し、利用者の希望が可能な限り実現できるよう配慮する。また地域生活移行の希望者には専門的支援の提供やグループホームの整備促進などの支援に取り組む。

### ② 「神奈川県障がい福祉計画」の改定について

「ともに生きる社会かながわ憲章」「津久井やまゆり園再生基本構想」を踏まえ計画した。位置づけは従来の障害福祉計画と児童福祉法に基づく障害児福祉計画を一体として策定する。計画期間は平成 30 年度～ 32 年度の 3 年間。

成果目標の一つとして、平成 32 年度末までに施設入所者の 10% が地域生活へ移行することを目指す。神奈川県は従来から全国的に見ても人口に対する入所者は最少である。市町村だけでなく県としても新たに組み込んでいく。また、医療的ケアが必要な障がい児が適切な支援を受けられるよう平成 30 年度末までに関係機関による協議の場を設置する。

今回の計画にあたり寄せられたパブリックコメントは 106 件にのぼった。これらの意見と県の考えについてはホームページにも載せてある。手をつなぐ育成会から出された意見と県の対応は以下の通り。

#### 1, 地域移行での受け皿と地域サービスの充実を進めてほしい。

→さらなるサービスの充実を図るため、30 年度の予算にも計上している。

#### 2, 在宅通所が多い現状を踏まえて、家族同居から自立できるための支援をしてほしい。

→サービスの充実を進めていく。

#### 3, 相談支援専門員を増員し、一緒に様々な機関と連携し選択しながらプランを立てられる施策を考えてほしい。

→大きな喫緊の課題と考えている。新しい事業として相談支援専門員を常勤・専従で複数配置している事業所には補助を出す。また研修の充実、特に初任者や入門的な研修も行っていく。

#### 4, 津久井やまゆり園だけでなく県内の知的障害児者に対する中長期的スパンで考えた施策に取り組んでほしい。

→3 年間の計画の中で継続的に取り組んでいきたい。



## 育成会運動のバトンをつないで



措置から契約へと障害福祉政策の大転換、平成18年4月「自立支援法」制定そして喧々諤々の介護保険との統合議論の中、依田会長が当会会長に就任されました。その後「障害者権利条約」の批准それに伴う「障害者基本法」の改正「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」へと法整備がなされ、平成25年4月「総合支援法」が制定され見直し等を経て現在に至っています。また平成28年7月には「全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会」を初めて神奈川で開催いたしました。そして同じ7月「相模原事件」がおきました。当事者家族の団体の長として、マスコミ取材やシンポジストとしての参加等数々の攻勢に毅然として対応して下さり、とても誇りに思いました。

振り返ればこのような激動の中、依田会長は県育成会のかじ取りを論理的に且つ冷静に担って下さり、精神的な支柱でもありました。残された課題は多くありますが、支部の方々との意見交換を第一として、託されたバトンは必ず次の世代に受け渡します。どうぞ「共に」県育成会の活動を見守りご支援くださいますようお願い申し上げます。長い間ありがとうございました。

力強い発言力のある藤田さん、ぶれない意見を発信する土屋さん、県の施策委員として活躍の野口さん、会議では軌道修正役の中川さん、活動に前向きに取り組む諸星さん、そして新しいメンバーの鈴木さん、6人の副会長と、そして好奇心旺盛な粗忽物の植松で新たな活動のバトンをつないでいきたいと思ひます。

（会長 植松 みさご）

### 新役員です どうぞよろしく!!



前列左から  
副会長 土屋 郁英  
会 長 植松 みさご  
副会長 藤田 精子  
副会長 野口 富美子

後列左から  
副会長 中川 孝子  
副会長 諸星 由美子  
副会長 鈴木 亜紀子  
監 事 佐々木 俊治  
監 事 佐藤 ゆみ

（撮影時欠席）

皆様はじめまして。平塚支部の鈴木です。慣れない事ばかりでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが頑張って参りますのでよろしくお願い致します。

また今年は次男が成人を迎え、皆様にお祝いをしていただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。平塚と言えば七夕まつり。東日本大震災や駅前にマンションが多く建ったことなど諸事情により開催期間も徐々に短縮され、今は3日間となりました。

反面、駅前のバリアフリーや災害時対策は強化されました。変えなくてはいけない事、変わってはいけない事を行政・地域と歩み寄りながら活動していきたいと思ひます。

## 「インクルーシブ教育」について懇談会



3月20日(火)、教育委員会との懇談会を開催しました。インクルーシブ教育推進課より2名と育成会から7名の参加で、有意義な意見交換ができました。同課は平成27年に新しく設置され、共生社会の実現に向けて、すべての子どもができるだけ共に学び共に育つことをめざし、相互理解を深めるよう様々な取り組みをされています。懇談会参加者の声を紹介します。

■今回の懇談会には学齢期の保護者の参加が少なかったのが残念でしたが、今までの経験から地域や学校によって障害児の受け入れ方に差がある事、特別支援学校が地域の学校のセンター的機能の役割を担っているが、保護者があまり活用できていなかったり、利用できることを知らない方もいたりするので、保護者にもっとPRしてもらえないか…など話をさせていただきました。また、県立高校でのインクルーシブ教育の推進と併せて、高校の教室を利用した養護学校の分教室では、原則として教室をお借りしているだけ…となっていますが、ともに学ぶという視点でもっと交流を深める事はできないかと質問してみたところ、制度上の問題で難しい事もあるが、少しずつ変わってきている所もあるとの事でした。  
(小田原支部 諸星 由美子)

■知的障がいの生徒が高校教育を受ける機会の拡大を目的とし、インクルーシブ教育実践推進校としてすでに3校で始められ、今後H39年度ごろまでには段階的に20校程度に拡大されるとのことである。

推進校がある地域の7校の小中学校では、全員が通常学級の仲間という意識のもと、「みんなの教室モデル事業」に取り組んでいる。今後の普及には国の動向や市町村の力量に任される部分が多いため、我々手をつなぐ育成会として注目していきたい。インクルーシブ教育は誰のための教育なのか。障がいのある我が子のためだけではなく「多様なものを受け入れる」すべての子どもたちの教育の場であることを改めて認識した。  
(二宮支部 北山 弓子)

■現場の切り口からいくらかでもインクルーシブ教育は推進できる。

細やかな実践を積み重ねること、実のある動きを起こすことと どの様なヴィジョンの人を動ける職責につけるかが重要。お金の使い方を有効にするために現場の経験と広い視野を持った良い目、洞察、議論を通して学校環境を変革することが必要。  
(二宮支部 一石 洋子)

■“共生”のテーマは良いが、今ある力や関係性の土台で実施するので、職員の方もジレンマを感じるはず。福祉と教育の連携はどこでコーディネートすべきか常に課題が残る。目先のことだけを言ってない、という意味ではとてもお話が聞きやすかった。県の担当職員の方も、課題への理解は共有できていると感じた。普通のお母さん達と職員、先生方などの意思疎通が安心してできるようにしてほしい。  
(二宮支部 根岸 ゆき子)

平成30年度 インクルーシブ教育推進フォーラム 神奈川県教育委員会主催  
**地域と共につくる インクルーシブな学校 ～みんなでつくる「わたしたちの学校」～**

○ 第1回 7月26日(木) 14:00～ 海老名市文化会館 大ホール

○ 第2回 8月21日(火) 14:00～ 川崎市宮前市民館 大ホール

詳細と参加申し込みは 神奈川県教育委員会のホームページをご覧ください

## 座間キャラバン隊がやってきた！

4月21日(土)相模原教育会館で座間キャラバン隊のみなさんを招いて講演会「座間キャラバン隊がやってくる！」を開催しました。お話、ビデオ、紙芝居、模擬体験、詩の朗読など盛りだくさんな内容で、参加した皆さんからは、障害への理解が深まった、心に響く良い内容だった、魅力的なお話ばかりだったなどたくさんのご意見をいただきました。

知的障害・発達障害を知ってもらう機会が増えるようまずは初めの一步にできればと考えています。

〈相模原支部 大井 早苗〉

## 支部情報

各支部の催しなどを紹介するコーナーです。たくさんのお情報をおまちしています！

## 湘南ロックンロールウェーブLIVE at 大磯

誰もが楽しめるライブを！ みんなで作るノリノリライブ！

5月12日(土)午後、大磯町立国府小学校体育館で開催されました。国府小初めたくさんの方々の協力がありました。大磯・二宮育成会も準備から参加しました。会場に入ると通所施設のミニショップと、世界の子供の笑顔の傘がお出迎え。ポリバケツにガムテープを張るワークショップから始まりました。続いてアーティストのボボ☆鉄平、進和学園とびつきりレインボウズ、おなじみのサルサガムテープと演奏が進むにつれ、ドラムをたたいたり、踊ったり、跳ね上がった、赤ちゃんからシニアまで、それぞれのスタイルでノリノリに。みんなの笑顔が印象的でした。



また、世界の人々がみんな幸せに生きられるように連帯しようというアピールを受けて、その思いを共有したライブでした。今回は準備不足もあったので、次は、もっと多くの人たちが参加して楽しめたらいいなと思いました。

〈大磯支部 野口 富美子〉

## 「やさしくなあに」～奈緒ちゃんと家族の35年～ 上映会

藤沢・茅ヶ崎支部で、障がいを知ってほしいとキャラバン隊を立ち上げました。その手始めとして、5月23日(水)藤沢商工会館ミナパークにて「やさしくなあに」の上映会を行いました。2回の上映会を行い、合計60人の参加がありました。

知的障害・けいれん発作を持つ奈緒ちゃん、そして、家族の35年の中にはお母さんや弟さんの思いや葛藤がありました。成長した奈緒ちゃんの「やさしくなあに」の言葉はみんなが癒されます。キャラバン隊も気負わず「やさしくなあに」の気持ちをみなさんに伝えていけたらと思います。

〈藤沢支部 星野 敏子〉

# 『10年間のご苦労さま!!』

退任にあたって 依田 雍子



去る4月23日の総会でやっと会長職から解放、長かった！思えば前例踏襲とか横並び主義といった日本のジョーシキがニガ手な“はみ出し者”の私、、、念のため10年前の就任挨拶文を見てみると、『こんな時に会長だなんて!!』ってタイトルがすでにはみ出している！

こんな時とは、福祉があの大地球変動で大揺れの時、「自分は異端児、はみ出し者、出る杭なので“立派な会長”は向いてないが、日本のジョーシキより私のジョーシキに照らして、ブレずビビらず難局を前面突破するしかない」って“立派な覚悟”、そのスジ相手に（全日本育成会とかあっちこっち！）ガシガシ反論するは、ゲリラ集会やるは、そう、長いものには巻かれぬ、出過ぎる杭は打たれない、異端もそのうち正統になる、はみ出す門には福来たる、、、違ふか。

以来、福祉に止まらず県育成会自体も大揺れの難局続きでしたが、事務局長もいない貧弱な体制にもめげず、その時々職員、役員、会員の皆様の忍耐と協力に支えられて前面（全面！）突破、のつもりが、最後の衝撃は2年前の津久井やまゆり園事件です。直後からさまざまな場で発言を求められ、あれこれ主張や思惑が入り乱れるなか、会長という立場で発信するのはさすがに厳しい作業でした。浮彫りになった優生思想や教育問題などは私にとっても今後の宿題です。

さて、10年前の就任挨拶文の続きは「皆様さぞかしこんな会長でいいの？とご心配でしょうが〜」、こんな予告がまずかったのか、確かにいろいろご心配ご不便をおかけしてしまいました。その“こんな会長”が言うのも何ですが、いま一番の心配事は「**どーなるどーする育成会**」、なので皆様、あとをどうか宜しく!!

最後になりますが、関係する多方面の方々からは一方ならぬご厚情を頂き、誠に有難うございました。今後とも障害当事者の人生に変わらぬご理解ご支援を賜りますよう、紙面をお借りしまして宜しく申し上げます。

## 編集後記



依田前会長、長い間本当にお疲れ様でした。植松新会長のもと、平成30年度がスタートしました。手をつなぐ育成会は、県下でも全国でも会員数が減少し活動も縮小せざるを得ない事が課題ですが、まずは我々会員達の“育成会ここにあり！”と、元気に楽しく生き生きと活動していく姿を見てもらいましょう。それが伝わるような紙面づくりを今後も新メンバー（諸星さん、鈴木さん）と共に作っていければ…と思っています。

（編集委員 中川 孝子）

## AIG 損保の障害者割引適用自動車保険について

2018年1月1日現在の内容です

一般用総合自動車保険（AAI）/家庭用総合自動車保険（AAP）

「身体障害者手帳」「療育手帳」などをお持ちの障害者とそのご家族のための自動車保険です。障害者割引の適用により、

他の保険会社からの無事故割引（等級）を継承したうえで、さらに保険料を10%割引（弊社間内容商品比）

車の故障・事故等に役立つロードレスキューを特約\*でご用意しております。

詳細はお問い合わせください。

\*30分を超える特殊作業など、場合によりお客さまにご負担いただくことがあります。



株式会社ジェイアイシー（AIG 損害保険 代理店）  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-2-11  
新宿三井ビル 2号館 2F  
フリーダイヤル：0120-213-119 FAX：03-5321-4774  
受付時間 9:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）



AIG 損害保険(株)東京第二プロフェッショナル営業部(引受保険会社)  
〒163-0814 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 14F  
TEL：03-6894-9110 FAX：03-6894-9922  
受付時間 9:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）  
ホームページ：http://www.aig.co.jp/sonpo/

A-000803(2019-1)